

# 宮崎まちづくり活動団体情報

Vol. 15



## 第2回目マイタウンマイロード事業

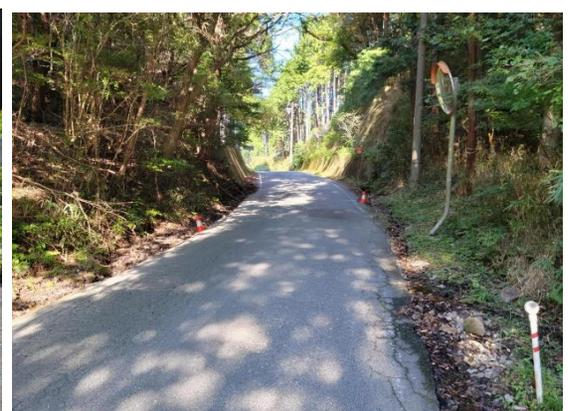
【宮崎まちづくり協議会お助け隊】

### 第2回目のマイタウンマイロード事業を実施

#### ○近隣市町との連携を高める活動を推進

令和4年10月23日、萩坂峠から豊川市萩町の集落まで、草刈りを実施しました。愛知県が推進する「マイタウンマイロード事業」の第2回目作業として、県道沿いの草刈りを実施する事業です。当日は、曇り空でしたが作業するには絶好の日和でした。今回は、全員で草刈りをして全員で刈草の運搬をするように改善し、スムーズな作業ができました。協力をいただいた皆さんは、ベテラン揃いでそれぞれが役割をしっかりと果していたことが印象的でした。カーブミラーや電線に絡む蔓を除去し、危険木の撤去も行われました。また今回は、ごみ拾い隊を設置して分別収集に心掛けました。萩坂から赤坂への視距改良が進んだことで、安心して通行できるようになりました。参加者の中には、行政区を超えた草刈りが必要かとの意見もあります。私たちの町の私たちの道路は、皆できれいにしていくことは、とても大切なことだと思います。例えば、現在でも千万町までの県道を宮崎町が掃除をしてくれています。また作手までの田原坂は、石原お助け隊やサイクリストが草刈りやごみ拾いをしています。来年の1月中旬には、杣坂から千両町までの県道千万町豊川線が通行可能となります。今後も、マイタウンマイロード事業を継続したほうが良いのか、検討してみたいと思います。

#### ○作業状況画像：萩坂峠下の路肩修繕（右下画像）を要望し、路肩の修繕が実施されました





【宮崎まちづくり協議会】

宮崎学区ミライづくり委員会（委員長 梅村順一）

○ミライづくりワークショップ開催



10月29日（土）第3回目のワークショップが開催されました。これまで、地域づくりの活動アイデアを掘り出し、その重要度がアンケートにより浮かんできました。そこで今回は、活動メニューを選択して「何をやるのか」「いつやるのか」の活動内容を話し合いました。「やりたい度」と「できる度」をポジショニングして、具体的な活動計画が検討されました。「あれかこれか」の特定をして「いつやるか」を話し合い、結果発表後には、個人の目標が宣言されました。

【オクオカ竹資源活用協議会】

荒廃竹林の解消作業実施（会長 荻野昌彦さん）

○くらがり溪谷下流の遊歩道沿いの竹処理



令和4年9月25日（日）宮崎学区において、放置竹林の除伐と竹処理の実演が行われました。まち協役員に参加をお願いし、くらがり溪谷下流の遊歩道沿いの荒廃竹林を解消することができました。チップー機械を遊歩道におろし、使用方法の講習と作業を行いました。作業終了後には、「びっくりするほどきれいになった」とお礼の連絡がありました。枯れた竹の処理は容易ではありません。地域住民のご理解をいただき、みんなで協力し合い竹処理を進めたいものです。

【里山こうぼうをつくる会】

親子ふれあい体験会開催（会長 梅村順一）

○森の生き物を知ろう。自然と親子で触れ合う活動

令和4年11月19日（土）室合内にある絆の森で「親子動植物探検体験会」が開催されました。講師に人間環境大学環境科学部 立脇隆文准教授と、横浜ゴム・千年の杜マイスター内藤勝さんをお招きしました。初めに、林道を歩きながら、宮崎の植物や樹木を観察します。くろもじの木は何の材料か確認。本種と姫種の違い。本山椒とイヌ山椒。朴木やマムシグサの赤い果実と茎の模様を確認しました。途中立脇先生は、ムササビの糞を発見。公民館では、絆の森に設置した定点カメラに映るイノシシやシカ、ヤマ鳩、ハクビシンを見つけることができ大いに盛り上がりました。午後は、2mもあるイロハモミジの苗木を植栽し、思い出深い「森の自然体験会」となりました。



【サイクリングの郷づくり委員会】

2022ロードクリーン事業（委員長 井畑俊治さん）

○サイクリストと地元住民の環境活動



秋も深まり紅葉が見ごろの11月20日、サイクリストと地元住民が参加して環境整備事業が実施されました。あいにくの天候でしたが、環境保全や社会貢献に意識の高い仲間が集まり作業が始まりました。対象区域は、これまでの活動で実施されなかった田原坂大曲りのカーブから下りの範囲を行いました。活動成果は、びっくりするものでした。短時間の活動でも荷台が山のようにになりました。参加メンバーからは、「悲しい気持ちになった。岡崎市の水源地がゴミだらけなのは残念。下流域の自分たちも無関係ではない」との発言がありました。この現状を皆に知らせようと、意見がまとまりました。今後も活動を続けていきたいと思ひます。

【くらがり活性化部会】

くらがり活性化実行委員会（委員長 菅沼弘さん）

○日本美しい森に選定（お薦め国有林）



くらがり溪谷の管理を任されている一般財団法人碧水会の目的は、自然公園法に則り「本宮山県立自然公園を中心とする自然保護と公園施設の管理運営により国民の保健休養及び教化に供与すること」と定められています。今から4年前の平成29年4月29日、林野庁は「日本美しい森 お薦め国有林」として全国で93か所を選定したことを発表し、当くらがり溪谷も「闇刃風致探勝林（くらがり溪谷）」としてその一つに選定されました。

これは多くの人に美しい森林景観を味わってもらうことを目的とするもので、今後3年かけて多言語による標識類の設置、情報発信、環境整備、フォトコンテストなどを行っていきとされています。令和元年9月6日からは林野庁ホームページにドローンなどによるお薦め国有林の素晴らしい撮影動画が公開されています。同動画はYouTubeにも数多く配信されていますが、残念ながら当くらがり溪谷の動画は未だ公開、配信されていません。

このような中、このほど林野庁による闇刃風致探勝林（くらがり溪谷）のドローンなどによる撮影が行われたことから、近く同庁ホームページで公開されるものと思われます。

公開されれば、くらがり溪谷には今後さらに多くの来場者が予想され、「美しい森」の名に恥じないよう、より一層、会の目的である「自然保護と公園施設の整備運営」にあたっていくことが求められます。

また、これはSDGs（持続可能な17の開発目標）の15番目の目標「豊かな陸も守ろう」にも該当するものであり、心してくらがり溪谷の自然保護活動、施設の整備運営にあたっていく決意です。